

1. 施策の目的等

施策名	2	健全な財政運営の推進			
基本計画	章	自律的消防行政の推進			
主担当部課名	企画総務部 企画財政課				
施策の目的	自律した消防行政を推進していくため、限られた経営資源を効率的かつ効果的に活用し組織力の向上を図ることを目的としています。				
施策を取り巻く現状や市民ニーズ等	消防組合は、組合市からの負担金を主な財源とする組織であり、消防の広域化により常備消防の規模を拡大することで、行財政上の様々なスケールメリットを生かして消防体制の充実強化を進めています。 また、管内では、高齢化率の上昇により救急出動件数が増加するとともに、救急活動に要する経費も増加しています。さらに、消防庁舎や施設の多くが老朽化し修繕費や維持管理費が増加しています。 こうした状況の中で、住民の安心・安全を第一に必要な消防行政サービスを確保した財政運営に努めています。				

2. 事業費・人件費等の推移

		単位	平成28年度 (決算額)	平成29年度 (決算額)	平成30年度 (決算額)	平成31年度 (決算額)	令和2年度 (決算額)
投入量	事業費(A)	千円	6,219	3,363	4,073	5,820	5,537
	正規職員従事人数	人	7	7	4	4	4
	延べ業務時間	時間	11,582	11,535	6,335	6,429	6,591
	正規職員人件費計(B)	千円	52,281	55,137	30,199	30,287	30,576
	再任用職員従事人数	人	0	0	0	0	0
	延べ業務時間	時間	0	0	0	0	0
	再任用職員人件費計(C)	千円	0	0	0	0	0
	会計年度任用職員従事人数	人	1	1	1	0	0
	延べ業務時間	時間	660	357	914	0	0
	会計年度任用職員人件費計(D)	千円	587	325	832	0	0
	人件費計(E) = (B) + (C) + (D)	千円	52,868	55,462	31,031	30,287	30,576
	トータルコスト(A)+(E)	千円	59,087	58,825	35,104	36,107	36,113

3. 指標実績の推移等

[illegible]

指標の分析

財政事情の公表回数については、住民に分かりやすく財政事情を発信し、財務事務の透明性を確保する取り組みを実施したことにより、総合計画実施計画に掲げる令和2年度の目標値を達成している。

4. 施策の評価

これまでの主な取組と成果

地方自治法第243条の3第1項及び埼玉西部消防組合財政事情の作成及び公表に関する条例第2条に基づき、毎年5月1日と11月1日に埼玉西部消防組合公告式条例第2条第2項に規定する掲示場及び当組合のホームページに予算執行状況等を掲示し、当組合の財政事情を公表することができた。

今後の課題

健全な財政運営を行うためには、住民や議会等の理解が重要であることから、財政の状況を正確に公表するとともに、説明文等を追記して住民によりわかり易く周知することが課題である。

今後の展開

組合市の財政事情の公表内容を参考にしながら、組合広報誌の活用等を検討しつつ、引き続き財務事務の透明性の確保に取り組んでいく。

5. 構成事務事業の評価

事務事業名		主要施策名	事業種別	令和2年度	事務事業 評価／ 総合評価		有効 度	優先 度
				決算額(千円)				
1	財務事業(消防局)	121 経営的効率性の向上	行政管理(財政管理/ 法律等)	5,537	B	1	B	B
2				0				
3				0				
4				0				
5				0				
6				0				
7				0				
8				0				
9				0				
#				0				
#				0				
#				0				
#				0				
#				0				
#				0				
#				0				
#				0				
#				0				
#				0				
#				0				
小 計				5,537				
合 計				5,537				

構成事務事業の 適当性	健全な財政運営の推進を具現化するための財務事業(消防局)の取り組みは、着実にその成果が表れており構成事務事業の適応性は高いものと評価する。
----------------	---